

1. 所属連盟・名前： 高体連 渡邊 浩二
2. 大会・研修会名： 全国高等学校総合体育大会・全国高体連審判研修会
3. 日程および会場： 平成27年7月25日（土）～27日（月）
島津アリーナ、ハンナリーグアリーナ、他
4. 講師： 相原 伸康、安西 郷史、清水 幹治、吉橋 雅一、片寄 達
渡邊 整、平原 勇次、宇地原 尚彦、前田 喜庸、向井 和宏
5. 研修会のテーマ： 信頼される判定をするため（ルール、マニュアルの正しい理解と適用）

6. 内容（講義・討論・実技など項目別に、できるだけ詳細に）

講義1. 大会に対する心構え～公平・平等～（渡邊 整氏）

①研修会に臨むにあたって

割り当てられたゲームの内容や臨む姿勢が大会中の割り当てにも反映される。
体調管理を十分に行い、トレーニングと研修ゲームに全力を尽くしてほしい。

②大会へ臨む気持ち

常に「冷静に」、「公正に」、「公平に」、「真摯的に」コートに立ち続ける。

③テーマについて

- ・正しい判定を積み上げていくこと
良い位置取り（アングル、距離）から生まれる
正しいルールに理解から生まれる
技術の理解から生まれる
- ・公正公平な判定をしていくこと
- ・感情的な判定（審判）をしないこと

講義2. 班別ミーティング（B班）

自己紹介（課題にしていることなど）、班長選出など

講義3. A級審判とは（平原 勇次氏）

①有料でバスケットの試合を見に来る人のいる試合を審判する。

②トップリーグの2部での審判をする。

観客が見たとき、わかりやすく、面白い試合となるよう審判がきちんと関わる必要がある。

明成と福岡第一の試合より

①試合を見るポイント

②動き方や心掛け

③残り16秒で84対84 どのような話を相手審判とするか。

④試合のまとめ方について

実技 講師：吉橋 雅一氏、渡邊 整氏

リード・トレイルの役割分担の確認

“ボールとその周辺”の意識を持つ（合わせ、ヘルプ）

本戦 1回戦 正智深谷（埼玉）－湯沢翔北（秋田） 主審

体調不良のため2, 3回戦はキャンセル。

7. 所感（刺激を受けたこと・滋賀県の審判に伝えたいことなど）

- ・自分の課題を常に意識し、緊張感を持って審判する。
- ・違うカテゴリーのゲームを積極的に審判する。
- ・体調管理の徹底